

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	国立療養所菊池恵楓園	
薬剤部科URL	https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/hansen/keifuen/	
キャッチコピー	ハンセン病の過去から現在までの歴史と治療について学べる施設です	
学生へメッセージ	少人数の薬剤師体制[現在4名の定員]ですが、幅広い業務をそれぞれに割り振っています。薬剤科が関与する全般的な委員会やカンファレンスに参加することでコミュニケーションや知識の向上にも繋がっています。 また、園の行事等に参加する事により入所者とも触れ合い、病院とは違った体験をする事ができ、歴史資料館や参考文献などで、これまでのハンセン病の歴史を知る事により人権問題等の自己啓発ができます。	
プロフィール	当園は、明治42年全国で5か所に作られた最初の公立療養所の1つで「九州癩療養所」として開園されました。その後、ハンセン病に対する初めての化学療法薬「プロミン」が登場したことでハンセン病は治療可能な病となりました。 現在の治療薬・治療技術の向上により、現在ではたとえ発症しても早期の診断・治療があれば後遺症を残すことなく治療することが可能となっています。 当園の薬剤科業務のメインは、入所者の調剤業務です。あと、注射薬業務や無菌調製も行っています。その他、点眼や軟膏など園内独自の製剤を作っています。 また、一部の入所者の家に服薬指導も兼ねて、薬を届ける配薬業務も行っています。 令和4年には当園の敷地内に歴史資料館が開館しました。 開園からこれまでのハンセン病の歴史がわかる資料館です。 是非、一度訪れてみて下さい。	
連絡先	096-248-1131(代)	
アクセス	熊本電気鉄道 御代志駅下車 徒歩5分 道路を挟んだ向かいに熊本再春医療センターがあります	
診療科目	内科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科	
病床数	321	
病院の特徴	厚生労働省が所轄する施設で全国に13か所(九州は5施設)あります	
アピールポイント	散剤分包機2台、全自動錠剤分包機1台、錠剤半切機1台、軟膏調剤・製剤機1台	
研修施設	-	
薬剤師数	4名	
薬剤師構成	(男女比) 男性 2 : 女性 2	年齢構成 20代 0名 30代 0名 40代 2名 50代 2名
認定資格・数	日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 2名、日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 1名	
臨床研究実績	第37回ハンセン病コメディカル学会発表 1演題	
チーム医療活動	感染制御チーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、生活機能支援チーム、医療倫理チーム	
院内保育園(連携含)	☒ 有 ☐ 無	